

JCI 四国支部

コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会 第2回 議事録

1. 日時：2012年4月21日（土）14：00～15：30
2. 会場：香川高等専門学校高松キャンパス コンクリート研究室
3. 出席者：水越（委員長、香川高専）、古田（香川県生コン工組）、吉川（BASF ポゾリス）、喜多（住友大阪セメント）、井上（中讃協業生コン）の各委員（計5名）
4. 配付資料
 - ・資料 2-1：第1回委員会議事録
 - ・資料 2-2：H24年度委員会名簿
 - ・資料 2-3：実験計画素案
 - ・資料 2-4：JCI 混和材を積極的に使用するコンクリートに関するシンポジウム論文集（2011年12月16日）の関連論文
5. 議題および議事概要
 - (1) 第1回委員会議事録の確認
 - ・前回議事録の確認が行われ、承認された。
 - (2) H24年度委員会名簿について
 - ・セメント技術委員会から参加していた薦谷委員が転勤となったため、後任に喜多委員（住友大阪セメント）が参加することとなった。
 - (3) 実験計画と実施日の検討
 - ・実験計画（次ページ、表-1 参照）を決定した。なお、フライアッシュ（FA）配合の試験は標準期に実施し、内容の詳細は次回に決定することとした。
 - ・実施時期：夏期試験は7月25日（水）9時～実施する。標準期は（10月下旬頃）、冬期は（1月あるいは2月）に実施することとし、詳細な日時は後日決定する。
 - ・実験場所：香川高等専門学校建設環境工学科で実施。
 - ・夏期試験の打設時は3名、2日脱枠時には2名の応援を香川県生コンクリート工業組合にお願いすることとした。
 - ・生コンの出荷工場の選定は、香川県生コンクリート工業組合にお願いすることとした。石灰石骨材配合はアサノ五色台工業㈱香西工場を候補とする。
 - ・型枠の脱型時期：標準養生のみ1日、2日、3日とし、他の養生は2日脱枠のみとする。
 - ・型枠は、本数が多くなったため、サミットモールドを使用することとする。
 - ・冬期の硬化コンクリート試験（材齢91日）がH24年度末までに終了しないため、本研究委員会を1年延長し、報告会を実施できるようJCI事務局に諮ることとした。

(4)次回委員会の開催予定

- ・第3回委員会をH24年6月22日(金), 16時～, BASF ポゾリス社にて開催することとした。

表-1 実験計画

(H24年4月21日 現在)

配合	骨材	打設時期	脱枠時期	圧縮強度・静弾性係数				
				養生方法	7日	28日	56日	91日
30-18-20N (高性能)	石灰石以外 石灰石	夏期	1日	20℃水中	○	○		
			2日		○	○		●
			3日		○	○		
24-8-20BB (AE減水剤)	石灰石以外 石灰石		2日	現場水中		○		
			2日	現場封緘				○
			2日	35℃水中		○		
			2日	35℃封緘		○	○	●

配合	骨材	打設時期	脱枠時期	圧縮強度・静弾性係数				
				養生方法	7日	28日	56日	91日
30-18-20N (高性能)	石灰石以外 石灰石	標準期	1日	20℃水中	○	○		
			2日		○	○		●
			3日		○	○		
24-8-20BB (AE減水剤)	石灰石以外 石灰石		2日	現場水中		○		
2日			現場封緘				○	
FA使用配合			FA配合は 石灰石以外	2日	25℃水中		○	
			2日	25℃封緘		○	○	

配合	骨材	打設時期	脱枠時期	圧縮強度・静弾性係数				
				養生方法	7日	28日	56日	91日
30-18-20N (高性能)	石灰石以外 石灰石	冬期	1日	20℃水中	○	○		
			2日		○	○		●
			3日		○	○		
24-8-20BB (AE減水剤)	石灰石以外 石灰石		2日	現場水中		○		
			2日	現場封緘				○
			2日	5℃水中		○		
			2日	5℃封緘		○	○	●

注) 生コン量: 3シーズン×2配合×骨材2種類+FA配合(標準期: 1配合) = 13配合 (13m³)

供試体本数 = 3シーズン × (4配合 × 13セット × 3本) = 468本 (サミット10箱) + FA配合分

●細孔径分布測定, FA(フライアッシュ)配合は標準期に試験を実施

以上
(文責) 水越